

## グアテマラ月報（2013年12月）

在グアテマラ日本大使館

### 1. 内政

●3日及び4日、ムアディ国会議長は、臨時国会を召集したものの、審議に進展は見られなかった。

●3日、トランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2013年世界腐敗認識指数によれば、当国は177カ国・地域中、123位。

#### (1) 2013年世界腐敗認識指数

3日、非政府組織（NGO）トランスペアレンシー・インターナショナルが公共部門の汚職レベルを0（腐敗度が高い）から100（腐敗度が低い）まで指数化した2013年の「腐敗認識指数」を発表。対象となった177カ国・地域の中で、当国は同指数が29ポイント（昨年より4ポイント減）で、昨年より10位ランクを落とし（昨年は176カ国・地域が対象）、123位という結果となり、中米5カ国の中では、ニカラグア（127位）及びホンジュラス（140位）を上回るのみに留まった。

#### (2) 国会の動向

(ア) 11月30日、2013年度通常国会が閉会。ムアディ国会議長は、12月3日及び4日に臨時国会を召集したものの、現在、審議・承認待ちとなっている法案等を読み上げるのみに留まり、バツィン文化スポーツ大臣に対する国会喚問を一時中断するための投票を行うどころか、審議・承認が急がれる緊急法案についての合意を得るに至らなかった（※12月19日時点）。

(イ) 12日、国民希望党（UNE）は、11月28日に国会で承認された2013年度国家予算の補填を目的とする米州開発銀行（IDB）からの新規借款（237百万ドル）に関し、右承認において正しいプロセスが取られなかったと憲法裁判所に訴えた。また、UNEは、IDBに対し、今回の借款の支払い手続きを中断するよう求める書簡を発出する予定である旨明らかにした。

#### (3) リゴベルタ・メンチュウ氏のメキシコ国立自治大学（UNAM）特別研究員への任命

11日、UNAMは先住民族の権利・教育への多大なる貢献を実現したとし、リゴベルタ・メンチュウ（1992年、ノーベル平和賞受賞）氏を同大学の特別研究員（Investigadora Extraordinaria）に任命した。

#### (4) パス・イ・パス検事総長就任3年目の報告書

12日、パス・イ・パス検事総長は、就任3年目の報告書を提出した。同報告書によれば、3年目は犯罪組織の解体に尽力。グアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）の協力により、検察捜査能力の強化及び司法の効率性が図られた旨強調した。

## 2. 外交

- 8日～10日、ペレス・モリーナ大統領はイスラエルを訪問した。
- 13日～14日、ペレス・モリーナ大統領はパナマで開催された SICA・EU 首脳会合及び第42回 SICA 首脳会合に出席した。

#### (1) ペレス・モリーナ大統領のイスラエル訪問

8日～10日、ペレス・モリーナ大統領は、ロサ夫人、カレラ外相、ロペス国防大臣、ロペス農牧大臣等を伴い、イスラエルを公式訪問した。9日、ペレス・モリーナ大統領は、ペレス・イスラエル大統領と約40分間に亘り会談し、治安及び経済協力について意見を交わした他、ネタニヤフ・イスラエル首相兼外相と会談し、治安問題及び同国の国境における治安問題への取り組み等について協議した。

#### (2) ペレス・モリーナ大統領の SICA・EU 首脳会合及び第42回 SICA 首脳会合出席

13日～14日、ペレス・モリーナ大統領は SICA・EU 首脳会合及び第42回 SICA 首脳会合に出席するため、パナマを訪問した。同会合において、ペレス・モリーナ大統領は、正式加盟後、初めてとなるドミニカ共和国の SICA 議長国（2014年第1四半期）に祝意を表した。また、同大統領は、2014年1月22日～25日にスイスのダボスで開催される世界経済フォーラムに出席し、武力に代わる麻薬対策の代替案の模索について主張する予定である旨明らかにした（当館注：その後、大統領のダボス会合出席は直前にキャンセルされた）。

#### (3) カレラ外相の国連安保理セッションへの出席

18日、カレラ外相はニューヨークを訪問し、今年最後となる国連安保理セッションに出席した。同セッションでは、サブサハラ・西アフリカ地域における麻薬の密輸対策についての協議が行われた。

## 3. 経済

(1) 1日、当国において、中米・EU 連携協定（通商部分）が発効した。同協定は、(ア) 通商、(イ) 政治対話、(ウ) 経済協力の3つの柱から成るが、通商部分については、既本年8月1日にホンジュラス、ニカラグア、パナマにおいて、続く10月1日にコスタリカ及びエルサルバドルにおいて既に発効済み。

(2) 5日、国税庁（SAT）は、2014年の見通しを当初の52,100百万ケツアル（6,679百

万ドル) から 50,375.7 百万ケツアル (6,458 百万ドル) に引き下げる旨発表した。

(3) 5日、中銀は、本年10月までの輸出総額が対前年同期比0.7%増の8,400百万ドルと発表した。

(4) 8日、中銀は、本年11月までのタバコの輸出総額が50,555ドルで対前年同期比96.2%増であったと発表した。

(5) 8日、中米税務研究院(Icefi)は、中米諸国の対外債務の状況に関する報告書を発表した。同報告書によれば、本年末までに、エルサルバドルは同54%、コスタリカは2011年の34%から39%へ、ホンジュラスは2011年の32%から38%へ拡大する見通しである一方、グアテマラは25%程度に、パナマは2011年の39%から37%に、ニカラグアは2011年の53%から42%に減少する見通し。

(6) 9日、国立統計院(INE)は、本年11月末までに当国における基礎的食料品バスケットの価格(世帯員5名で計算)が2,896.5ケツアル(36.86ドル)上昇したと発表した。

(7) 16日、バルキン中銀総裁は、2013年の当国の経済成長率見通しは3.2~3.6%であると発表した。

(8) 11日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)はラテンアメリカ・カリブ経済の見通しに関する報告書を発表。同報告書によれば、本年の当国の経済成長率見通しは3.4%、2014年の同見通しは、対外輸出の回復と国内需要の拡大に伴い、3.5%。

(9) 16日、バルキン中銀総裁は、2013年の当国の経済成長率見通しは3.2~3.6%であると発表した。

(10) 18日、観光庁(INGUAT)は、本年11月末までの当国への観光客数は対前年同期比4%増の1,773,639人、観光部門における外貨収入は、対前年同期比17.6%増の1,75百万ドルであると発表した。

◇主要経済指標◇

	2013年			2012年	2011年
	12月	11月	10月		
インフレ率(前年同月比)	4.39%	4.63%	4.15%	3.45%	6.20%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△572.6	△838.4	△7,008.5	△6,212.1
輸出(百万ドル)	未発表	867.9	766.3	9,985.3	10,400.9
輸入(百万ドル)	未発表	1,440.5	1,604.7	16,993.8	16,613.0
外貨準備高(百万ドル)	7,272.6	6,957.5	6,657.8	6,711.2	6,142.4
外国からの送金(百万ドル)	447.3	376.6	480.0	4,782.7	4,378.0
為替レート(対ドル月平均)	7.86	7.90	7.96	7.90	7.81

(出所：中銀)

## 4. 社会・治安

### (1) 暴力による死亡者数

3日、法医学研究所（INACIF）は、2013年1月から11月末までの当国の暴力による死亡者数は昨年同時期（4,711人）を上回る4,838人に達したと発表した。

### (2) Jaguar Energy Guatemala 社での銃撃事件

15日、エスクイントラ県ケツアル港まで80kmの地点にある高速道路側において、Jaguar Energy Guatemala 社において銃撃事件が発生。同社の火力発電所の建設及び機材の設置に従事している中国人15名が負傷した。Jaguar Energy 社は、石炭による火力発電所の設置及び機材設置のために Machine New Energy Corporation（CMNC）と契約。しかしながら、CMNC 社による作業に遅れが目立つことから、Jaguar Energy 社は同社との契約解除することを検討。両社間の対立が深刻化する中で今回の事件が発生した。